

諫高同窓会々報

長崎県立諫早高等学校
同窓会事務局
TEL 22-1222・FAX 22-5104
http://www.news.ed.jp/isahaya-h/
編集 馬場 秀 樹
印刷 所 諫早印刷株式会社
TEL 22-1350

令和元年度を振り返って



同窓会々長 池田 光利
(高校二十回・昭和四十三年卒)

同窓会の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。諫高陸上部駅伝女子は、昨年十二月二十二日の京都での第三十一回全国高校駅伝大会において、十年ぶりの八位入賞を果たしてくれました。諫高女子の入賞は十三年度

目で、今大会では男女を通じて、公立校唯一の賞状獲得でした。一区から五区間までを、七位、八位、九位、九位、八位と一桁の順位での入賞でした。藤永監督、選手、サポート等の部員一丸となつて、努力の成果だと思つています。年末の最高プレゼント、誠に有難うございました。西京極陸上競技場には、真崎支部長をはじめ多くの関西支部の皆様

や、東京等からも同窓生が結集し、諫高応援団の大応援旗のもと大声援を送ることができました。同窓生の皆様には、募金活動をはじめ厚いご支援に感謝いたします。また、五年に一度の同窓会会員名簿の発行を、昨年六月に実施することができました。会員の消息等の把握にご尽力いただいた各卒業生回幹事の皆様、名簿購入、広生協賛、賛助金協力をいただきました皆様へ感謝申し上げます。今後とも同窓会活動を通して、会員相互の親睦とともに母校の発展のため、会員の皆様のお力添えをお願いします。



業した後に何をしたいのかと考えるようになった。大学で何を学びたいのか改めて考える良い機会だったと思う。セミナーに参加できて本当に良かった。自分の働きたい会社のイメージがあり、それは都会にしかないと思つていたが、長崎の会社でも自分のイメージと似た会社があり、そこで働きたいと思つた。

協働を促しています。今後も学校活動の様々な局面で、生徒が主体的に活動し、対話を通じた多様性との出会いの中で、未来の創り手である生徒がさらに大きく成長していくことを期待しているところ。同窓会員の皆様におかれましては、本校の教育活動に對しまして、今後とも一層のご協力、ご支援を賜りますことをお願い申し上げます。

「未来人材セミナー」開催のご協力に感謝



校長 原田 尚之

同窓会員の皆様には、平素より本校の教育活動にご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年の十二月に京都市で開催された女子第三十一回全国高等学校駅伝競走大会において、本校陸上部女子チームが出場四十七校中八位という成績を収め、十年ぶり・十三回目の入賞を果たしました。この大会に先立ちまして諫早高校駅伝後援会からご支援のお願いをいたしましたところ、多くの同窓会員の皆様からも募金をお寄せいただきまし、心より厚く御礼申し上げます。今年も昨年

上の成績を残せるように精進してまいりますので、今後とも一層のご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。さて、昨年も書かせていただきましたが、近年、グローバル化、ネット社会の進展、高度情報化に伴うAI(人工知能)により、世界的な規模で大きく社会が変化しようとしています。世界は「激動の時代」を迎えています。そのような社会を生きていくためには、生徒たちには、自ら課題を見つけ他と協働して問題解決を図る力が求められており、本校の校訓「自立創造」とおり、自分自身の力

で人生を磨き、新しい価値観を創造していかなくてはなりません。現在の家庭の多くは核家族化している中で、早い時期から身近な大人である親や教職員とは異なる社会経験を持った方たちとの交流が今後には必要だと考えています。また、地元企業にどのような素晴らしい企業があるか知らない生徒も多いです。恥ずかしながら、私も小惑星探査機「はやぶさ」のメッキを諫早市の企業が持ついたなど全く知りませんでした。そこで、昨年十月に県内企業二十二社にご参加いただき、業務内容や求める人材像、当該企業の魅力等について説明していただく「未来人材セミナー」を新たに開催しました。諫早商工会議所、長崎県庁関係各課や地元在住の同窓生の皆様にご支援を賜り、本校のような大規模普通校では県内

初の取組となりました。卓越した技術で事業を展開している企業、まちづくりに関わりつつある企業、働き方改革で大きな成果を上げていく企業、重要拠点を県内に置く企業という四つの視点から候補企業を挙げさせて、当セミナーの趣旨にご賛同いただいた企業に参加していただきました。生徒は自分が興味を持った四社のブースに行き、説明を聞き、積極的に質問をしたりして理解を深めました。以下、参加した生徒の感想の一部です。

最後にありますが、会員の皆様今後ますますのご発展とご健勝を祈念申し上げます。また、同窓会で整備いただいた御書院の池は、池底が見えるほど水質が良くなり、生徒ならびに教職員一同、大変感謝しています。婦郷の折りには、是非、母校にお立ち寄りくださ



同窓会総会・懇親会の報告

令和最初の諫早高校同窓会ならびに懇親会は七月六日(土)、諫早観光ホテル道具屋において、開催されました。総会では、最初に池田光利同窓会会長のあいさつと原田尚之諫早高校校長による諫高の現況報告が行われました。議事では、前年度の事業と決算報告、本年度の事業計画と予算の審議が行われ、議案はすべて承認されました。引き続き、現役諫高生による活動発表が行われました。今年度はギター・マンドリン部の演奏とコーラス部の合唱、応援団の応援が披露されました。諫高生らしい生き生きとしたステージ発表の姿に往時を思い出された同窓会の方々も多かったのではないのでしょうか。さすがに暑い雰囲気の中、総会を終了することができました。続いて行われた懇親会

では、幹事生である全日制二十七回、三十七回、四十七回生の方々が中心となって進行していただきました。会の後半では、諫早市民に昔から親しまれている民謡「のんのこ節」が流されると有志の方々の輪が自然とでき、血踊りが始まりました。なかなか雰囲気の中、盛り上がりも最高潮となりました。その後、二十七回生代表より二十八回生代表に校旗の引継ぎが行われました。校旗を引き継いだ二十八回生代表が来年度の盛會を誓い、同窓会総会ならびに懇親会を締めくくりました。当番回生の皆様、高校時代を懐かしみ、友と語らう、楽しい場を設けていただき、ありがとうございます。ご参加頂いた皆様、ありがとうございます。次回のご参加も心よりお待ちしております。

関東支部総会

第六十五回東京不知火会総会・懇親会
は、例年どおり六月第三土曜日の六月十五日にザ・プリンスパークタワー東京中国料理陽明殿にて開催しました。

古賀賢治会長(二十三回生)挨拶、玉山三重子常任幹事(二十二回生)から会計報告、山口賢昌副会長(十七回生)による乾杯でいよいよ懇親会スタートです。司会は昨年に続き本間忠俊常任幹事(三十七回生)です。今年は二十歳代の参加者ふくむ八十七名の同窓生が、そして諫早から池田光利同窓会会長(二十回生)・原田校長先生・卒業生でもある同窓会事務局や市職員ほか東京在住の市・県の職員方や東京諫早会会長 今泉弘人様(六回生)にもご出席頂き、先輩後輩の垣根を越えてこの日の出会いを大いに楽しみました。

また今年も、郷土諫早から森長の「黒おこし」や諫早自慢の日本酒「杵の川」を差し入れていただき堪能しました。恒例の校歌斉唱を野球部出身の(甲子園初出場時のメンバー)野田誠さん(二十九回生)のリードで大合唱し閉会となりました。

初めて参加した卒業生も多数いらっしゃいます。ぜひ、情報交換や気の合う仲間さがしにでもいらしていただきたいものです!

常任幹事 香田誠朗(三十七回生)



関西支部総会

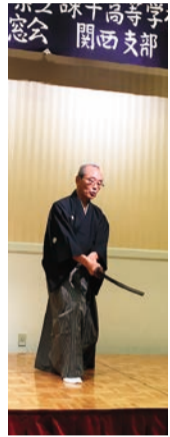
令和最初の支部総会は十一月十七日開催され、総勢四十六名の参加でした。諫早からは池田会長、原田校長、上迫事務局次長にご出席頂き、諫早駅辺りの変貌ぶり、現在の諫早高校の素晴らしい活躍の話聞かせて頂きました。特に昨年涙を飲んだ高校女子駅伝が長崎県でぶつちぎりの優勝を果たした話は痛快でした。

講演会では十三回生で長崎東高校校長等を歴任され、現在長崎三和道場の代表 川下満之様に居合道の話と実際の演武をご披露頂きました。

懇親会はたっぷり三時間、最後は「お楽しみプレゼント」、のんのこ節の音頭で「皿踊り」、諫高校歌、「故郷」の合唱と盛り上がりました。

来年は六十回の記念同窓会で、十一月十五日開催を予定しております。是非多くの皆様の参加をお待ちしております。またゴルフ「浪花さいばい会」、ウォーキング「あるかんば隊」活動も継続しておりますし、十二月二十二日の高校駅伝では西京極の諫高応援旗の下、支部の皆さんが陣取って応援致します。

関西支部長 真崎 宏



中京支部総会

中京支部総会ならびに懇親会を九月二十八日、名鉄ニューグランドホテルにて開催しました。

寄る年波にも負けず、初の参加となる同窓生や久しぶりといった同窓生を交えて、本部からは原田校長先生ならびに池田光利同窓会本部長にご臨席を賜り、会を開くことができました。榊原紀子さん(全十二家)の祝いの舞で始まり、中京支部総会には欠かせない田口豊太郎さん(全十一)の名司会にのせられて参加者の話が長くなり、時間切れになってしまいました。また、母校応援団の活躍や頑張っている諫高生の様子を伺うにつれ、

諫早への思いを強くしたところです。締めくくりは、わが町諫早の発展と母校のさらなる向上を祈念して、宮崎京治さん(全十七)による一本締めで、会を閉じました。

中京支部長 渡邊 豊



長崎支部総会

諫高同窓会長崎支部、年に一度の懇親会「新年会」に、今年も、長崎在住の同窓生、そして、県庁、長崎市役所の現職の同窓生など、四十数名が参加。池田同窓会長や原田校長から、今の諫高生が、進学実績だけでなく、都大路をはじめ、スポーツ、文化双方で、活躍していることが報告され、感嘆の声があがった。今回は、十七回卒、十八回卒の出席者が多く、同級生に誘われて、初めて参加した人も、「懐かしい人に会えて良かった」と高校時代に戻って、話が弾んでいた。長崎支部の存在意義は、長崎で、仕事している現役世代を含めた「異業種交流の場」でもあると考えており、今後、若い世代が、より参加しやすい環境、条件にしていきたいと考えている。

会の最後は、恒例の肩を組んでの校歌斉唱!(新年会には、校歌の作詞者 風木雲太郎先生のご息女が、毎回参加されている!)「諫高の校歌は最高!」と声も飛んで、拍手と感動の中で、閉会した。

長崎支部長 河野 英雄



福岡圏支部総会

福岡圏支部第四回総会は、二〇一九年(令和元年)七月二十七日、福岡市で開催されました。

参加者は池田同窓会長、原田校長等の御来賓のほか、総勢一一〇名で、和やかに懇親を深めました。

当日は、二十七回生の平野隆文さんによる居合道の演武と三十二回生の高橋和彦さんによるマンドリンの演奏を鑑賞しました。

ゴルフ、山歩き、囲碁、テニスの同好会もスタートしています。第五回総会は二〇二〇年(令和二年)七月十八日(土)午後、博多駅そばのホテルクリオコート博多の予定です。

福岡圏支部長 前田 豊



2019 (第71回卒業生) 入試結果

Table showing university admission results for 2019 graduates. It is divided into sections for National Universities (国立大学), Public Universities (公立大学), Private Universities (私立大学), and Specialized Universities (専門学校). Each section lists the university name, number of first-time applicants, graduates, and total admissions.

Table detailing cultural activities (文化部) and their achievements. It lists various clubs and groups such as Photography (写真), Tea Ceremony (茶道), Music (吹奏楽), and Sports (卓球), along with their specific accomplishments and awards.

部活動

1. 部活動の入部状況 (複数が籍含む)

在籍者に対する学年別入部率 (%)

令和元年5月

Table showing enrollment rates for various sports and cultural clubs across the first, second, and third years, along with the total enrollment rate for the entire year.

2. 活動状況 (令和元年度)

体育部

Table detailing the activities and achievements of various sports clubs (e.g., Football, Tennis, Volleyball, Basketball) during the first year of the Reiwa era.



令和二年一月二日、ホテルグランドパレス諫早にて七十回生の成人同窓会を開催しました。来賓の先生方をはじめ、二百名以上の方に参加していただき無事開催できましたことをうれしく思います。離れていてもSNSでつながれる今、「久しぶり」という感覚は先人達よりも薄くなっているのかなと感じましたが、

同窓会活動報告

文章や写真だけでは伝えられない生き生きとした話や、高校時代の思い出話に花を咲かせ、忘れかけていた「会って話すこと」の大切さを改めて実感する機会となりました。次回の同窓会ではどんな話が聞けるのか楽しみです。

七十回生幹事

樟 育実

お礼—令和元年度全国高等学校 駅伝競走大会出場に際して

都大路を終えて

陸上部女子主将

黒川 光



昨年行われた全国高校駅伝大会において、たくさんのご支援とご声援、本当にありがとうございます。結果は一時間九分五秒で八位となり、目標であった都大路八位入賞を達成することができました。一年前、県駅伝の連覇が途切れ、都大路を走ることができず、とても悔しい経験をしまし



た。新たなチームで目指してきた都大路八位入賞までの道のりは苦しいことがたくさんありましたが「負けのゴール」が私たちに強くしてくれました。都大路では、選手はもろろん、サポートもチーム全員がベストを尽くし、最高の駅伝にすることができました。日頃から同窓会をはじめ、たくさんの方々が支えて下さり、応援して下さいました。おかげで、ここまで来ることができました。当日も、皆さんの応援が私た



ちの大きな力となりました。今回の入賞を新たなスタートとして、これからもさらに上を目指して頑張っていこうと思います。応援よろしくお願ひします。



令和の定時制

定時制
教頭 福田 公彦
(三十一回生)

定時制は、今年度で創立七十一周年を迎え、昭和・平成・令和の三つの時代を歩むことになりました。入学生七名、全校生徒数四十一名は、定時制の歴史の中で最も少なく多い頃の約五分の一となりました。少ないながらもアットホームな雰囲気です。学校生活を送っています。

令和元年度の定時制の取組を紹介いたします。六月には全国高校定時制大会長崎県大会が六年ぶりに本校で行われ、本校の体育館で行われたバドミントン女子が準優勝に輝きました。九月には県定時制通信制生徒生活体験発表大会が行われ、本校は自衛隊を除隊して入学した二十九歳の生徒が代表として「人生を選択することを楽しんで」と題して発表を行いました。将来の選択肢を広げるた

めに高校へ入学したと、高校卒業の資格を得て看護師になりたいという夢をかなえたいこと、始めるのに年齢制限はないこと、などを力強い言葉で聴衆に語りかけました。十一月には、大村・島原と合同で五十七回目となる中地区定時制体育大会を行いました。

卓球・バドミントン・バスケット・ソフトボール・フットサル・将棋・オセロの競技を行い、親睦を深めました。二年前より、「諫早市・中学生・高校生文芸コンクール」に俳句部門で参加しており、今年度は「ありがたい」夏休みのない両親に「で奨



励賞を受賞しました。令和になって新たに「諫定漢字チャレンジ」と名づけた漢字テストを行っています。年間五回行って、成績優秀者を表彰します。また、三月には基礎学力の育成も兼ねて「四字熟語カルタ大会」を実施する予定です。時代の変化とともに定時制も変わろうとしています。

編集後記

今回の会報におきまして、本校の現況や各回・支部のさまざまな活動を掲載させていただきました。原稿執筆や情報提供をいただきました皆様方、本当にありがとうございます。今年度も様々な学校行事の開催にあたり、同窓会生の方々ははじめ、地域の方々など非常に多くの方にお力添えをいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

シリーズ「おしどりの池」⑱ 諫高生のますますの活躍を願う

塚原 伸 一(三十七回生)

昨年四月に母校に赴任して一年が経とうとしています。三月末、赴任の挨拶に久しぶりに母校に来たときに真っ先に立ち寄ったのが御書院でした。川沿いの散策路がきれいに整備され落ち着いた雰囲気は当時のままで、掃除時間にたき火で暖をとっていたことを懐

かしく思い出しました。今の諫高生は、分厚い学生靴とたくさんの教材が入ったリュックをかかっている姿が印象的です。また、主体的に学ぶことでの進路目標の実現のために努力しながら、少ない練習時間ながらも工夫して文武両道を実現しようと

頑張っています。文化部・運動部とも全国レベルの大会で活躍しています。なかでも女子駅伝部は、八位入賞という快挙を成し遂げました。これは、男女で唯一の公立高校であることを考えるとすばらしいの一言です。生徒一人ひとりがますます活躍し、充実した高校生活を送れるように微力ながら尽力していきたいと思ひます。



すばらしい母校

福田 麻衣子(五十四回生)

母校である諫早高校の附属中学校に赴任して、一年が経とうとしています。この一年間、様々な場面での約二十年前の自分の諫高生活を思い出して、懐かしんでいます。私の高校生活を一言で言えば「部活」です。隙間だらけで、室内なのに床から植物が生えてくるほど古い、今はなき部室でひたすらフルートを吹

いていました。土日も一日練習が多く、部活と勉強の両立に本当に苦労しました。部活の休憩時間に、みんなで集まって必死で課題をしたり、分からない問題を教えあったりしたことはいい思い出です。部活引退後、苦しい受験を何とか乗り越えられたのは、部活で得た仲間と経験があったからです。素晴らしい仲間と

出会い、様々な経験ができる諫早高校で学ぶことができて本当によかったです。今でも思っています。後輩でもある附属中学生たちは、勉強、部活をはじめ全てのことへ一生懸命に取り組んでいます。時には成績が伸び悩んだり、友人関係で上手くいかなかったりと、様々な苦しい経験もすると思います。しかし、その苦しさを乗り越え、諫早高校附属中学校、諫早高校に入学してよかったと思えるような手助けができるよう、母校に勤務できる



喜びを胸に日々精進していきたくと思ひます。

「文武両道」の校是のもと、来年度も本校のさらなる躍進のため今後とも教職員一同、一枚岩となって、努めて参りたいと存じます。最後になりますが、同窓会会報をご一読いただき、母校に思いを寄せていただければ幸いです。